

自分で食べられる喜び

つき組 平島

どの子どもも、いずれは母乳やミルクでなく「食べ物」を自分で食べます。
「離乳」はあせらなくていい、ゆっくり進めていい、と昨今はいわれますが、子どもの口や手、内臓などの発達から「丁度良い」時期(敏感期)があります。
子どもは、体にピッタリあった時期にやりたいことができると、とても喜びや楽しみを感じて意欲的になります。
反対に、大人の都合で時期から「遅く」なってしまうと「しなくていいんだ」「できないんだ」「よくわからなくなった」と混乱することもあります。そんな時、名島保育園では、子どもの食べ方を観察して、一つずつひも解き、自分から「食べたい」「口や手を使いたい」という意欲につながるように援助しています。

3か月頃

首が座り、周囲を見回せるようになります。

4か月頃

手の動きがコントロールできるようになると、口元に持ってきます。

5か月頃

腹這って、近くにある物を手に取れるようになります。

6か月頃

少し支えがあれば座ることができるようになります。

5～6か月

- ・妊娠期間中に蓄えがあった鉄分がなくなり始めます。
- ・でんぷんを消化する酵素が唾液の中に出てきます。
- ・乳歯がはえ始めます。

目の前にある、色々な食べ物を見て、手で触ったり、握ったり、口に入れるようになります。

「抱っこ」から机の前に椅子を使って「座れる」ようになります。

名島保育園では・・・

ハイハイで来れる食卓 手作り歯固めパン こどもサイズの食器 いつも同じ場所・順番
おいしそうな匂いがする



★私たちは、環境を整え、子どもが少しずつ自分で動いて「できた」「おいしい」「楽しい」を感じられるように見守っています。